

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	小倉北特別支援学校等新築工事	階数	地上3F
建設地	小倉北区下到津一丁目198番1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	530 人
地域区分		年間使用時間	1,400 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 0.0	評価の実施日	2023年9月15日
敷地面積	21,502 m ²	作成者	久保 直
建築面積	5,598 m ²	確認日	2023年9月20日
延床面積	13,807 m ²	確認者	(株)西部交通建築事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.6 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 環境負荷 L (0-100) vs 環境品質 G (0-100) BEE = 1.0 (0.5 to 3.0) BEE = 1.6 (0.5 to 3.0) BEE = 1.0 (0.5 to 3.0) BEE = 1.0 (0.5 to 3.0)	標準計算 ① 参照値: 100% ② 建築物の取組み: 92% ③ 上記+②以外の: 92% ④ 上記+: 92% このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです。 (kg-CO ₂ /年・m ²)	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境 Q のスコア = 3.6

2-4 中項目の評価(バーチャート)
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4 音環境: 3.6, 温熱環境: 3.0, 光・視環境: 3.1, 空気質環境: 4.4 Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.6 機能性: 3.8, 耐用性: 3.2, 対応性: 3.8 Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.7 生物環境: 3.0, まちなみ: 4.0, 地域性: 4.0 LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5 建物外皮の: 5.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 2.9, 効率的: 4.0 LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4 水資源: 3.0, 非再生材料の: 3.3, 汚染物質: 4.3 LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2 地球温暖化: 3.3, 地域環境: 3.4, 周辺環境: 3.1 LR のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ・安全で快適な居住性を配慮した学校づくりを行う。・授業の多様化や変化に対応した学校づくりを行う。・コミュニティの拠点となる地域に配慮した学校づくりを行う。・環境へ配慮したやさしい学校づくりを行う。 ・建設コストの低減を意識した学校づくりを行う。		0
Q1 室内環境 音環境、温熱環境、光環境には積極的に配慮する。また、取り入れ空気を新鮮な自然外気を取り入れられるよう計画する。	Q2 サービス性能 機能性・使いやすさに配慮し、将来の変更にもある程度対応できる荷重設定を行う。また、階高も可能な範囲でゆとりを設ける。	Q3 室外環境（敷地内） 歩行動線と車両動線を意識した外構計画とする。四季を感じる変化ある植樹を植栽する。
LR1 エネルギー 自然の採光・通風を十分に取り入れられる配置、設計とし空調設備に頼らない環境づくりを行う。又、太陽光発電を設け、自然エネルギーの再利用、生徒への環境教育の仕掛けをつくる。	LR2 資源・マテリアル F☆☆☆☆材を使用し、エコマーク対応など環境配慮型の材料を使用する。	LR3 敷地外環境 地域にある公共施設としてふさわしい雰囲気や外観を備え、景観に配慮した学校とする。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

■使用評価マニュアル：北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト：CASBEE北九州_2014(v2.0)

1 建物概要

建物名称	小倉北特別支援学校	BEE	1.6	BEEランク	A	★★★★
------	-----------	-----	-----	--------	---	------

2 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.5 /5		ふつう 
2 地球温暖化対策の推進	3.1 /5		ふつう 
3 豊かな自然環境の確保	3.6 /5		ふつう 
4 高齢社会への対応	4.0 /5		よい 
※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上  ふつう 3 点以上  がんばろう 3 点未満 

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル: CASBEE-建築(新築) 2014年版		使用CASBEE評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v2.0)	
1 循環型社会への貢献		スコア平均 3.6	
リサイクルに関する配慮		長寿命化に関する配慮	
LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア 3.4	Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数	スコア 3.5
		Q2/ 3 対応性・更新性	スコア 3.8
<自由記述>		<自由記述>	
2 地球温暖化対策の推進		スコア平均 3.1	
省エネ・省資源に関する配慮		節水に関する配慮	
LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア 3.2	LR2/ 1.1 節水	スコア 3
<自由記述>		<自由記述>	
3 豊かな自然環境の確保		スコア平均 3.7	
生態系保全に関する配慮		緑化に関する配慮	
Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 4	Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア 4
		LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア 3
<自由記述>		<自由記述>	
4 高齢社会への対応		スコア平均 4.0	
バリアフリーに関する配慮		主な指標	
Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア 4	建物の外皮性能 (BPI評価)	
		非住宅:BPI値、住宅:省エネ等級	0.88
<自由記述>		建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価)	
		非住宅:BEI値、住宅: -	0.72
		外構緑化指数	5 %
		建物緑化指数	20 %

:入力欄

:CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。